



2013年2月1日
シダックス株式会社

**シダックスグループの食への取り組み
「食べて応援しよう！おいしい米粉メニューフェア」
秋田県の米粉を使用したメニュー提供で、米粉の普及と被災地の応援を**

フードサービスや公共サービス、教育からレジャーまで多種多様なサービスを提供する健康創造総合サービス企業のシダックス株式会社(東京都渋谷区:代表取締役会長兼社長 志太勤一:以下シダックス)は、農林水産省によるフード・アクション・ニッポン*推進本部の取り組み「米粉倶楽部」「食べて応援しよう!」と連動し、2013年2月1日(金)~2月28日(木)、シダックスグループ約1,200の店舗・施設にて「食べて応援しよう!おいしい米粉メニューフェア」を実施いたします。

米粉は、米を粉末にした食材で、吸油率が小麦粉の4割以下というヘルシーさが特長です。近年、パンや麺類、スイーツなど幅広い料理に利用されており、日本人の主食である米を身近に摂取できる食材として注目されています。

シダックスグループは、2012年3月、フード・アクション・ニッポン推進本部の食料自給率向上のための取り組み「米粉倶楽部」と連動し、全国のグループ約1,000の店舗・施設で米粉メニューフェアを展開して参りました。今回は昨年に引き続き2回目の開催となり、実施店を全国約1,200店に拡大して実施いたします。

また、今回は同推進本部の復興支援の取り組み「食べて応援しよう!」とも連動。秋田県産の米粉を使用し、唐揚げ、あんかけ麺、ナンなど計4品のメニューの提供および米粉の推進活動を行います。本フェアを通じて、さまざまな料理に活用できる米粉利用の可能性を知っていただくとともに、社会問題解決型企業として、食を通じて被災地の復興支援に取り組んで参ります。

シダックスは“はぐくむ、大切なことのすべて”という基本理念に基づき、「安心・安全」で、美味しく楽しい「食」と、真心のこもった上質なサービスを提供することを通じて、お客様の健康創造に寄与し、健全な社会の実現を目指します。

* 農林水産省が2008年度に立ち上げた、国産農産物の消費拡大の取組み



「食べて応援しよう！おいしい米粉メニューフェア」概要

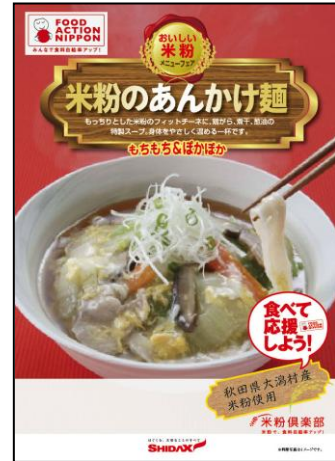
＜実施期間＞

2013年2月1日(金)～2月28日(木)

※ スペシャルティールレストランのみ、2月12日(火)～

＜実施内容＞

- ① シダックスグループが受託運営、および運営する店舗・施設で、秋田県産の米粉を使用したメニューの提供
- ② 米粉利用の推進活動
※「米粉倶楽部」活動の、小冊子の配布、のぼりの設置など
- ③ 「食べて応援しよう！」の推進活動
※「食べて応援しよう！」活動の、のぼりの設置など
※②、③については、店舗・施設により、配布、設置物が異なります



給食受託店舗掲示用ポスター

＜実施店舗＞

1. 給食受託店舗・施設における料理提供

実施店舗: シダックスグループ全国約900の給食受託店舗・施設

提供メニュー数: 計2種類(店舗・施設によって期間、種類が異なります)



米粉の唐揚げ



米粉のあんかけ麺

2. スペシャルティールレストランにおける料理提供

実施店舗: 計1店舗/TOKYO MAIN DINING(東京都渋谷区)

実施期間: 2013年2月12日(火)～2月28日(木)

提供メニュー数: 計1種類

提供メニュー名: チーズ入りキーマカレーの米粉ナン(1,050円 ※サラダ、2ドリンク付)

はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX
News Release



米粉倶楽部
米粉で、食料自給率アップ!

3. レストランカラオケ・シダックスにおける料理提供

実施店舗: 全国 301 店舗

※ゴールド宗右衛門町クラブ(大阪府)を除く

提供メニュー数: 計 1 種類(※各店舗数量限定。期間中販売終了次第、提供終了となります)



いちごナン(580 円)

～参考～

<「米粉倶楽部」について>

フード・アクション・ニッポン推進本部の取り組みの1つ。米粉を通じて、新しい食の可能性を広げ、日本の食料自給率を向上させることを目的とした活動。

米粉倶楽部
米粉で、食料自給率アップ!

<「食べて応援しよう！」について>

フード・アクション・ニッポン推進本部の取り組みの1つ。東日本大震災の被災地およびその周辺地域の農林水産物、加工食品を積極的に利用することで、被災地支援の輪を広げていくとともに、産地の活力再生を通じた被災地の復興を応援する取り組み。



以上